

未来への希望と感謝を込めて

昭和30年7月20日、神代村、笹川町、橘村、東城村が合併し、東庄町が誕生しました。それから今年で70年。町の繁栄への感謝と未来への希望を込め、盛大に70周年が祝われました。

11月16日(日)、町公民館で、招待者来賓合わせて約250人の皆さまに出席いただき、記念式典が挙行されました。式典では、各分野で功績があった54名の表彰のほか、来賓の方々から多数のご祝辞をいただきました。アトラクションとして、東庄小学校児童・中学校生徒による「浦安の舞」、町出身のマリンバ奏者である櫻井秀悠さんによる演奏、町ドローンパークを運営する一般社団法人国際ドローン協会制作の70周年記念動画上映があり、盛大な式典となりました。

た切手のお披露目がありました。(詳細は3ページ)
式典の中で、岩田利雄町長は「今日の繁栄は、多くの先人・先輩の皆さま方のご努力、町民のご支援・ご協力のたまもの」と感謝の言葉を述べたあと、幼稚園・小学校の統廃合や高齢化など地域課題に触れながら、「ふるさとを大切に思う町民がいる限り、さらに魅力的なまちづくりをしていけると確信している。70周年を新たな出発点として、将来をしっかりと見据えて、ふるさと東庄が水と緑と歴史のまちとしてありつづけるよう、一歩一歩着実に前進していきたい」と、決意の言葉を述べました。



表彰者 (敬称略)

【自治功労】
鈴木正昭、高木武男、(故)城之内一男、板寺正範、佐久間義房、大網正敏、花香孝彦、清水正幸、金島正好、五十嵐正憲、平山茂、向後元道、小林衛治
【教育文化功労】
(故)林澄枝、渡邊幸江、上代義正、海上義治、長谷川康夫、宮内欽一、佐藤光枝、高木裕行、飯田秀子、林美喜江、鎌形綾子、高安正雄、遠藤智一、鈴木宏美、ボーテデラボ株式会社、イーエルビードットラボ株式会社、東庄町養豚経営者協議会

【社会福祉功労】
飯田篤永、山本牧夫、渡邊正明
【交通安全功労】
野口秀夫、柳堀登、渡邊保、柳堀貴、須澤桂子、高木智恵美、坂本順子、山田眞佐子
【産業経済功労】
岡野豊、江波戸敏雄、多田正吾、高橋秀樹、石毛章俊、農事組合法人石ファーム、寺嶋昭一、菅谷隆
【善行表彰】
東洋合成工業株式会社千葉工場、有限会社ブライトピック千葉
【その他の功労】
玉川奈々福、笹川出羽海後援会、芝桜の会
(順不同)



▲アトラクション「浦安の舞」

マリンバ演奏は町出身の奏者 櫻井秀悠さん(鹿野戸)

アトラクションとしてマリンバの演奏が披露されました。奏者の櫻井さんは旧笹川小学校音楽部で楽器に触れたことがきっかけで音楽を始め、それからさまざまな楽器を経験したのち、独特な音の厚み、木のあたたかい音色や、一人で伴奏からメロディーまで奏でられる点に魅了され、マリンバを始めたそうです。

現在は、演奏活動を主としながら、音楽を志す学生のサポート役として大学に勤務されています。



「何事もまずは挑戦してみて、周りの影響ではなく自身がどじっときたもの、直感を信じて進んでほしい。僕はそうしてここまでたどり着きました。」と櫻井さん。



東庄の魅力が詰まった記念切手が完成

黒部川と利根川が流れる自然豊かな水と緑のまちを象徴する、町制施行70周年記念のオリジナル切手が発売されました。

豊かな自然と、町の特産品であるいちご、秋から冬にかけて飛来するハクチョウをあしらった切手です。切手に使用されたハクチョウの写真を撮影したのは、東庄中学校の元教諭である齋藤敏一さん(旭市)。

切手は、11月3日(月・祝)に開催された、第38回東庄ふれあいまつり開会式にてお披露目されました。切手は、町内の郵便局で購入できます。



▲左から齋藤敏一さん、岩田町長、東庄郵便局高橋局長、小南郵便局青野局長、橘郵便局岩田局長